

ぼくのねこボー

「えがおどろぼう」をおいはらえ

2年 K・Nさん

「この本、読みたくないな。」

ひょうしにかかれたネコを見て、ぼくは言いました。ぼくは犬をかっている
ので、かなしい顔だと気づいたからです。ぼくは、かなしい顔がきらいです。
その時、お姉ちゃんが言いました。

「さい後は、えがおになるからだいじょうぶ。」

ぼくは、えがおが好きだから、少しこわいけれど読むことにしました。

この本を読んで、谷山くんのウンは「えがおどろぼう」だと思いました。谷
山くんは二回ウンをつきました。ネコのボーはへいでねていたのに、お母さん
には箱の中にいたと言って、かうことにしました。森くんがかっているトムと
ボーがにているのに、そのことを森くんからかくしました。ウンをつくつと、み
んなの顔からえがおがうばわれました。

でも、お姉ちゃんが言った通り、さい後はみんなえがおになりました。谷山
くんが、ボーはトムかもしれないと正直に言ったから、森くんはトムに会えま
した。そして、みんなにえがおがもどったのです。ぼくは、「えがおどろぼう」
がいなくなつてよかったな、と思いました。

ただ、ぜんぶのウンを、なくさなくてもいい気がしました。きのうのできご
とを思い出したからです。

きのう、ぼくはウンをつきました。お母さんのおたん生曰カードをじゅんび
していたときです。お母さんから何をしているか聞かれて、ちがうことをして
いると答えました。でも、えがおはうばわれませんでした。理由は二つあると
思います。一つ目は、相手によるこんでもらうためのウンだったから。二つ目
は、後で正直に伝えられるウンだったからです。

今回、ウンには色いろなしゆるいがあることが分かりました。中でも、「え
がおどろぼう」のウンはよくありません。えがおをまもるために、おいはらお
うと思います。